

秘

手印  
解部  
切分

王斗  
局長

(庫)八七一〇

滿洲採金會社ニ關聯スル黑吉林鑛借款處理方針

一、黑吉林鑛借款ノ擔保ハ全部滿洲國領域内ニ存スルヲ以テ同國ニヨリ事實上承繼サレタレトモ右ノ事實ニヨリ中華民國ノ本借款ノ債務者タル地位ハ何等影響ヲ受クヘキモノニ非ス

二、滿洲國政府ハ日滿議定書ニ於テ日本國又ハ日本國民カ滿洲國領域内ニ於テ有スル一切ノ權利利益ヲ確認尊重スヘキ旨ヲ宣示セルモ本借款債務ノ繼承ニ關シテハ未タ何等具體的ナル意思ヲ明示セサルヲ以テ其ノ承繼ハ日滿華三國間ノ取極アルマテハ未確定ノモノナルヘシ。然レトモ滿洲國政府ハ事實上本借款ノ擔保全部ヲ承繼シ從ツテ其ノ擔保權ハ確認尊重セラレ居ルモノナルヲ以テ基本債

大藏省

11

大蔵省

務ノ履行セラレサル場合ニハ擔保ノ存在スル限度ニ於テ本借款ノ元  
利拂ニツキ責任ヲ負フヘキモノトス

三、本邦債權者ハ何時ト雖モ黒吉兩省ニアル金銀其物ニ對スル擔保權ヲ  
行使シ得ル次第ナルモ右ハ日滿兩國ノ特殊ノ關係ニ鑑ミ之カ行使ヲ  
差控ヘ單ニ滿洲國政府ノ受クル金銀ヨリノ收入ニ對シテ擔保權者ト  
シテノ權利ヲ行使スルモノトス

四、滿洲國政府ハ本借款ノ元利拂トシテ採金會社ヨリ受クル收入中ヨリ  
一定ノ金額ヲ本邦債權者ニ對シ支拂フモノトス

右金額ハ別紙一二定ムル所ニヨル

五、將來本借款ノ擔保タル黒吉兩省國有森林ニ付何等カ新施設ヲ行ヒタ  
ル場合前項ノ金額ニ適當ノ變更ヲ加フルノ必要アリト認ムルトキハ

大蔵省

務ノ履行セラレサル場合ニハ擔保ノ存在スル限度ニ於テ本借款ノ元  
利拂ニツキ責任ヲ負フヘキモノトス

三、本邦債權者ハ何時ト雖モ黒吉兩省ニアル金銀其物ニ對スル擔保權ヲ  
行使シ得ル次第ナルモ右ハ日滿兩國ノ特殊ノ關係ニ鑑ミ之カ行使ヲ  
差控ヘ單ニ滿洲國政府ノ受クル金銀ヨリノ收入ニ對シテ擔保權者ト  
シテノ權利ヲ行使スルモノトス

四、滿洲國政府ハ本借款ノ元利拂トシテ採金會社ヨリ受クル收入中ヨリ  
一定ノ金額ヲ本邦債權者ニ對シ支拂フモノトス

右金額ハ別紙一二定ムル所ニヨル

五、將來本借款ノ擔保タル黒吉兩省國有森林ニ付何等カ新施設ヲ行ヒタ  
ル場合前項ノ金額ニ適當ノ變更ヲ加フルノ必要アリト認ムルトキハ

大正十一年八月二十一日  
滿洲國政府ハ本借款ノ擔保タル黑吉兩省ノ金銀ノ大部分ノ鑛業權ヲ  
滿洲採金會社ニ無償ニテ移轉シ同會社ヲシテ採掘ヲナサシムル計畫  
ナルヲ以テ同會社ノ右特權ニ對シテハ相當ナル負擔ヲナサシメ同時  
ニ本借款ノ債權者ノ利益ヲ擁護スルノ必要ヲ考慮シ最公平且妥當ナ  
ル利益金處分ノ方法ヲ決定スヘキモノトス  
右ノ方法ハ別紙ニ定ムル所ニヨル  
セ本邦債權者ノ受入金ニ付本邦債權銀行ト日本政府トノ關係ハ別途講  
究スルモノトス

之ヲ變更スルモノトス

六、滿洲國政府ハ本借款ノ擔保タル黑吉兩省ノ金銀ノ大部分ノ鑛業權ヲ  
滿洲採金會社ニ無償ニテ移轉シ同會社ヲシテ採掘ヲナサシムル計畫  
ナルヲ以テ同會社ノ右特權ニ對シテハ相當ナル負擔ヲナサシメ同時  
ニ本借款ノ債權者ノ利益ヲ擁護スルノ必要ヲ考慮シ最公平且妥當ナ  
ル利益金處分ノ方法ヲ決定スヘキモノトス  
右ノ方法ハ別紙ニ定ムル所ニヨル  
セ本邦債權者ノ受入金ニ付本邦債權銀行ト日本政府トノ關係ハ別途講  
究スルモノトス

大藏省



別紙一

(庫) 八七一〇

[Faint, illegible text in a large rectangular frame on the right page, likely bleed-through from the reverse side.]

滿洲國政府ノ黒吉林鑛借款元利拂トシテ支拂フヘキ金額  
一、滿洲國政府ノ滿洲採金會社ヨリ受クル收入ヲ左ノ三種トス

(イ) 現金株ニ對スル配當

(ロ) 全額拂込權利株ニ對スル配當

本株ノ額面金額ハ滿洲國政府カ會社ニ讓渡スル豫定ノ國有鑛區  
全部ヲ讓渡セル場合ニ同政府ノ受クヘキ手数料及登録税ノ金額  
ニ相當スルモノナリ。

(ハ) 納付金

本納付金ハ滿洲國政府カ黒吉兩省ノ金鑛ヲ採金會社ニ移轉シ採  
掘ヲナサシムル特權ニ對スル代償トシテ別紙二ノ如キ方法ニヨ  
リ利益金ノ一部ヨリ受クルモノナリ

大 藏 省

(8. 5. 小川納)

Faint, illegible text on the right page, possibly bleed-through from the reverse side.

三、滿洲國政府カ前記ノ如キ收入ヲ受クル場合ニ於テ同國政府カ支拂フヘキ金額ヲ決定スル方法トシテ

(イ)採金會社ヨリ受クル納付金ノ全額及全額拂込權利株ニ對スル配當收入ノ半額ヲ支拂ハシムルコト

(四)右支拂金額カ滿洲國政府ノ配當金純收入額ト同額以上ノトキハ右支拂金額ト配當金純收入額トカ等額トナル迄權利株配當金收入ヨリノ支拂金額ヲ減シ、納付金額カ滿洲國政府ノ受クル配當金總收入額ト同額以上ノトキハ納付金ノミヲ支拂ハシムルコトトスルヲ適當ト認ム。其ノ理由次ノ如シ。

納付金ハ前述ノ如ク特權ニ對スル代償トシテ滿洲國政府ノ收納スル

大藏省

（Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is illegible due to fading and low contrast.)

モノナルヲ以テ之ヲ債權者ニ支拂ハシムルハ最モ理論的ナリ  
又權利株ニ對スル配當收入ノ半額ヲ支拂ハシムル趣旨ハ右配當收入  
ノ内ニハ納付金ト同一性質ヲ有スルモノト認ムヘキ部分アルノミナ  
ラス配當年八分以下ニシテ納付金ノ納付ナキ場合ニモ滿洲國政府ヲ  
シテ應分ノ支拂ヲナサシムルヲ適當ト認メタルニ由ル。

大  
藏  
省

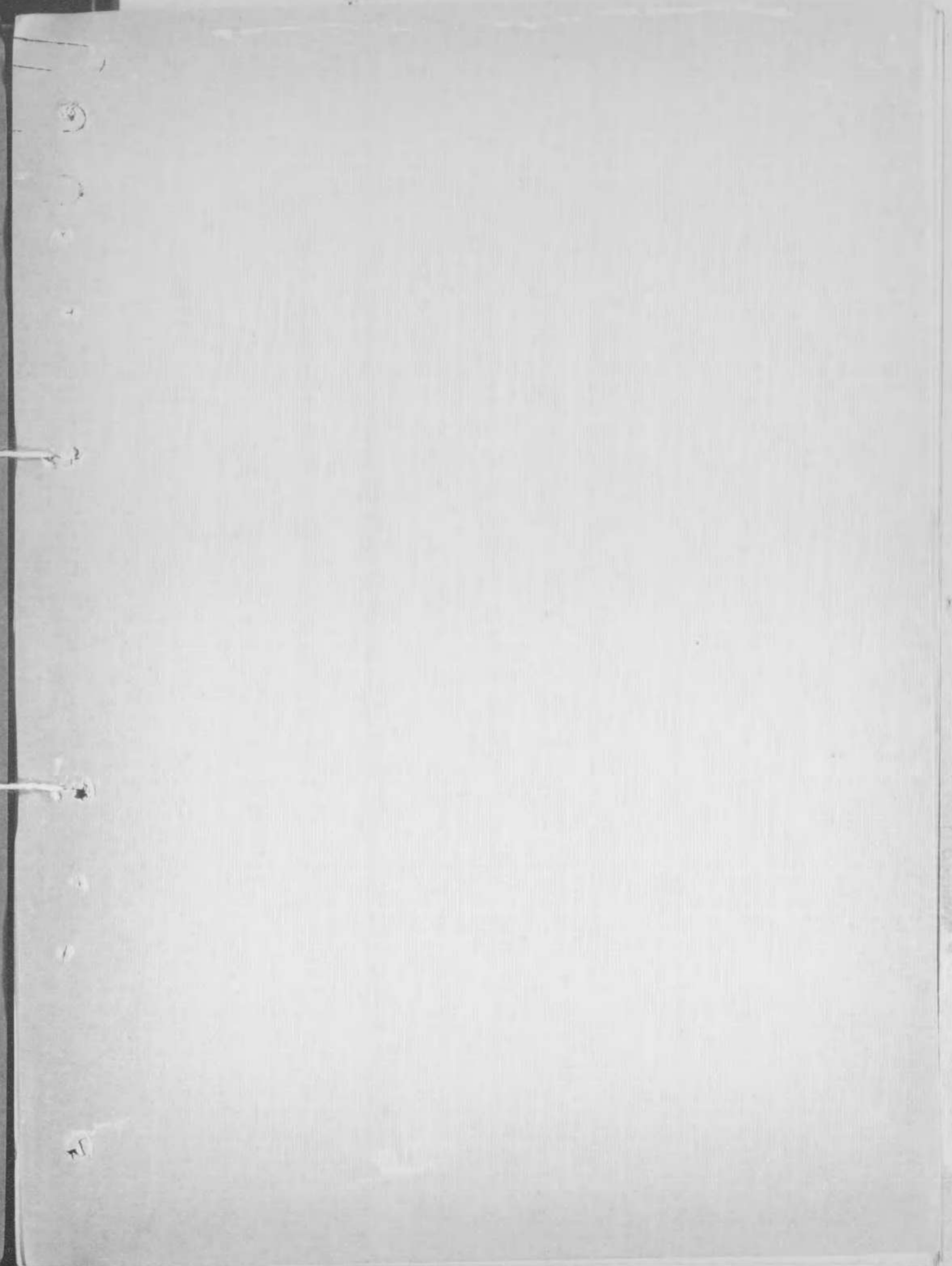
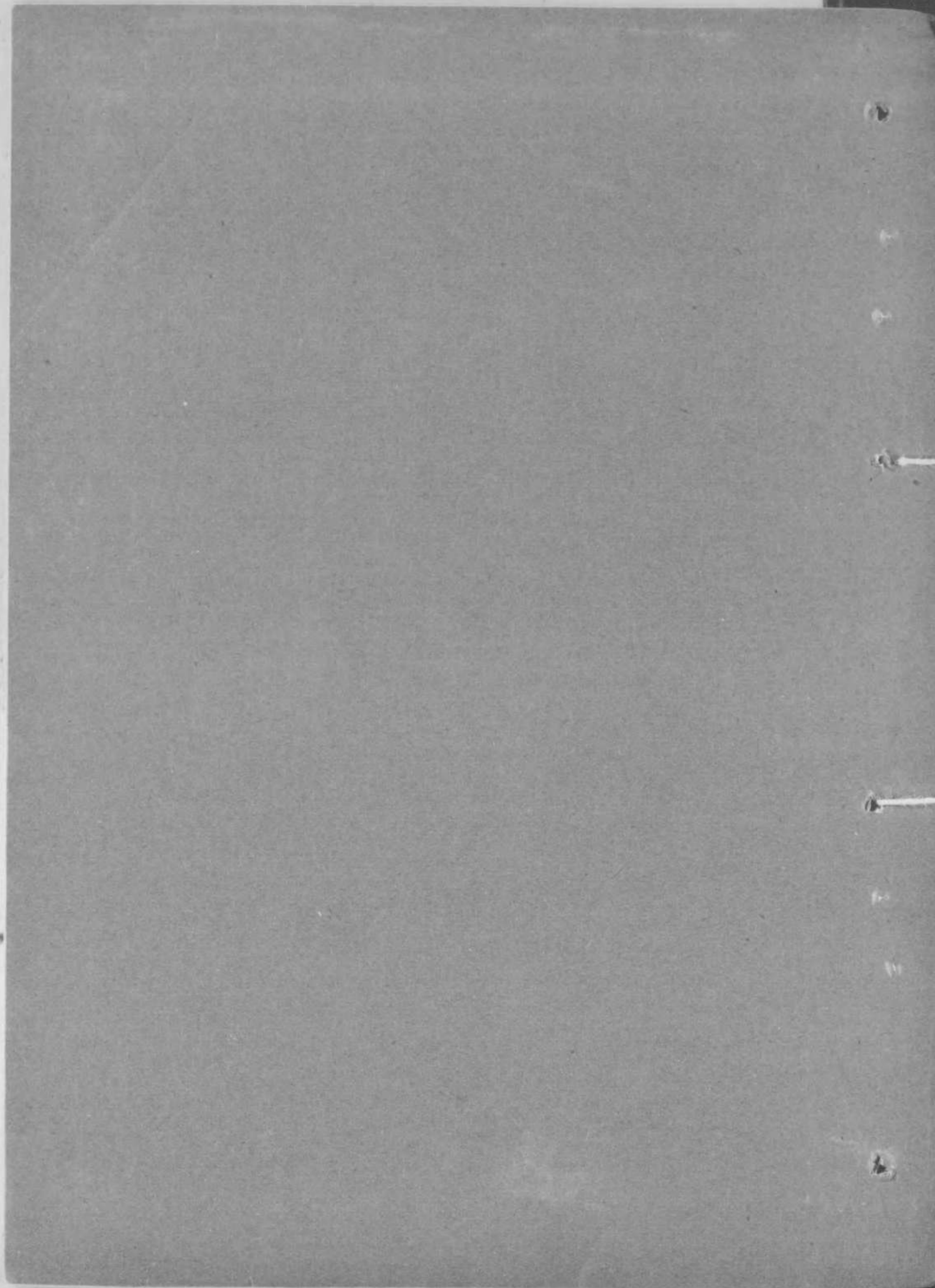
別紙二

滿洲採金會社ノ利益金處分方法

會社ハ事業年度毎ニ純益金ヨリ法定積立金（即純益金ノ二十分ノ一）ニ相當スル金額及拂込資本金額ニ對スル年八分ニ相當スル金額ヲ控除シタル殘額ノ二分ノ一ヲ滿洲國政府ニ納付スルコト  
純益金ヨリ前記ノ金額及納付金ヲ控除シタル殘額カ拂込資本金額ニ對シ年二分ノ割合ヲ超過シタルトキハ其超過金額ノ四分ノ三ヲ更ニ滿洲國政府ニ納付スルコト

（庫）八七六

大藏省



④  
⑤  
⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩  
⑪  
⑫  
⑬  
⑭  
⑮  
⑯  
⑰  
⑱  
⑲  
⑳

0000 0719